

村上城主・本庄繁長

人柄や強さの秘密分析 郷土史家ら公開討論会

戦国時代の村上城主・
本庄繁長の魅力などを語



る公開討論会「冬の陣」
が14日、村上生涯学習
推進センターで開かれ
た。市内外から約80人が
出席、繁長の人柄や強さ
の秘密などに耳を傾け
た。
市民有志でつくる本庄
繁長公没400年祭実行
委員会が主催。パネリ
ストには、いずれも村上
市在住の飯沼与三太実行
委員長と郷土史家の大
場喜代司さん、前村上市
郷土資料館長の松山勝彦
さんの3人と、新潟市秋
葉区で繁長について勉
強している会社員窪田瑞
穂さんの計4人を招い

た。本庄繁長の人柄や魅力な
どについて語り合った公
開討論会14日、村上市
討論会では、繁長が生
涯80回以上の戦で一度
も負けなかった強さの秘
密について語り合った。
大場さんは「繁長は日頃
から民衆にも分け隔て
無く接したから、戦場で
協力を得られた」と述べ
た。松山さんは上杉景
勝が繁長に出した手紙な
どから「景勝は繁長を
頼りにし、家来の団結力
も強かった」と分析し
た。
戦法の特徴として、
飯沼さんは最上義光ら
を破った十五里ヶ原の戦
いを挙げ、「村上の川と
共に育ったので、川の地
形を生かした戦法が得
意」と説明。窪田さんは
「忍耐力に優れ、籠城
戦が強かった」と述べ
た。
新潟市北区から参加し
た会社員、石墨貴志さん
(32)は「討論者によって
繁長に対する見方が違っ
ていたのが面白かった」
と話した。